SONY

2-580-990-**02**(1)

スポーツパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SPK-HCA

© 2005 Sony Corporation　Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一、スポーツパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。
- スポーツパックおよび内部機器に対する損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルビデオカメラレコーダーDCR-HC90/HC41/HC40/HC30/DVD403/DVD203/DVD201/DVD101対応のスポーツパックです。
- お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深5 m以内）での撮影ができます。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**
- **万一異常が起きたら**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら →
❶ 電源を切る
❷ テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止　行為を禁止する記号

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

衝撃を与えない

禁止

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるフロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツパックの開閉はできるだけ避けてください。デジタルビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ、"メモリースティック　デュオ"、ディスクの交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- スポーツパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を越える温水の中
  - 0 ℃以下の場所

  結露、水漏れ、デジタルビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 湿度の多いところでのデジタルビデオカメラレコーダーの取り付けは避けてください。結露の原因となります。
- 周囲温度が35 ℃を超えるときのご使用は、連続1時間以内にしてください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

スポーツパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

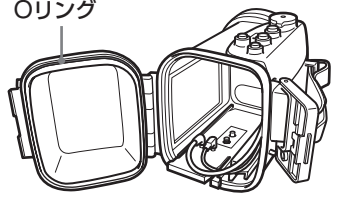
水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。

デジタルビデオカメラレコーダーがぬれた場合は、至急テクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

Oリングの取り扱いかた

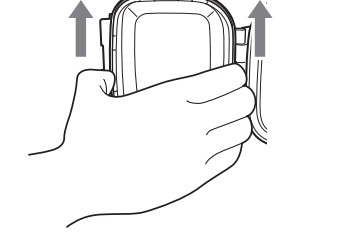
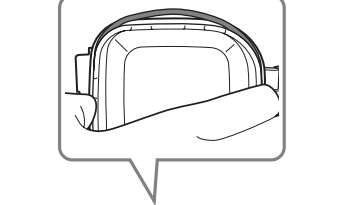
Oリングとは？

Oリングを使ってスポーツパックなどの機器の防水性を保ちます。

Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水漏れの原因になります。

Oリングの取り扱いかた

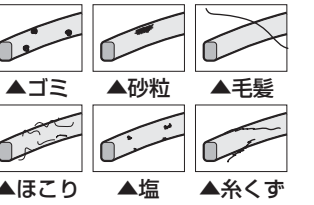
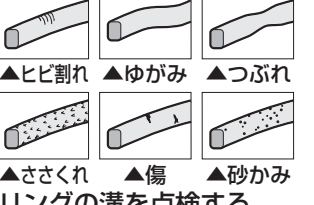
Oリングを取り付ける

Oリングの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。

1 Oリングを取りはずす

- Oリングを取りはずすときは、図のようにOリングを押さえつけながら、矢印の方向にずらしてください。Oリングにたるみができますので、簡単に取りはずすことができます。

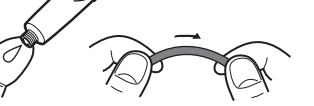
  Oリングを取りはずす際、爪によってOリングを傷つけないようご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、スポーツパックの溝やOリングに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

2 Oリングを点検する

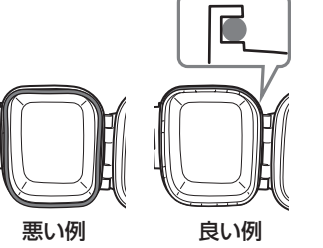
- 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
  - ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
  - 古いグリスが残っていないか

- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- Oリングを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。

3 Oリングの溝を点検する

砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取り除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。

4 Oリングの反対側の接触面も同様に点検する

5 Oリングにグリスを塗る

- 上の図のようにOリングに米粒大のグリスを、指の腹で全体に薄く均一に塗ってください。
- 紙や布は、繊維が付着することがあるので、使わないでください。
- Oリングの表面には、いつも薄くグリスがついているようにしてください。グリスはOリングを保護し、摩耗を防ぎます。
- グリスを塗り終えたOリングは、机上などに置かずにそのまま溝に取り付けてください。

6 Oリングを溝に取り付ける

以下の点に注意して、Oリングを溝に均等に入れてください。
－Oリングにゴミなどが付着していないか
－Oリングがねじれていないか

水漏れの確認方法

Oリングの交換後は、ご使用の機器を収納する前に、スポーツパックを閉じて、水中（約15 cm）に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ

Oリングの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、Oリングの機能を損なう恐れがあります。

Oリングの耐用年数

スポーツパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属のグリスをお使いください。他社のグリスを使うと、Oリングを傷めて、水漏れします。

くもり止めリキッドについて

スポーツパックのフロントガラスに付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止め防止に効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法
  フロントガラスの内側に2〜3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

Oリング、グリス、くもり止めリキッドのお問い合わせ（ご購入について）

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
Oリング（番号2-580-982-01）
グリス（番号2-582-620-01）
くもり止めリキッド
（番号3-072-039-01）

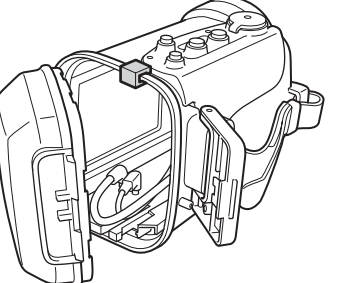
お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30 分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- スポーツパック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはスポーツパックご使用のたびに必ず行ってください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。

- Oリングの劣化を防ぐため、ボディーを閉じたあとバックルは締めないでください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

□音声が記録されていない
→デジタルビデオカメラレコーダーのMIC（Plug in power）端子にマイクプラグを、または映像／音声端子に音声プラグをしっかり差し込む。

□スポーツパック内部に水滴がつく
→バックルをカチッとロックされるまで締める。
→Oリングを正しく装着する。
→Oリングにキズ、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。

□撮影ができない
→バッテリーを充分に充電する。
→デジタルビデオカメラレコーダーのLANC 端子またはリモート端子にリモートプラグをしっかり差し込む。
→テープが終わりになっている場合、別のテープを入れる。またはテープを巻き戻す。
→"メモリースティック　デュオ"の残量がない場合、別の"メモリースティック　デュオ"を入れる。または不要なデータを消す。
→テープ、"メモリースティック　デュオ"の誤消去防止つまみ、スイッチを戻す。または別のテープ、"メモリースティック　デュオ"を入れる。
→ディスクの空き容量がない場合、新しいディスクを入れる。または初期化する（DVD-RWをお使いの場合のみ）。
→ディスクがファイナライズされている場合、ファイナライズ解除する（DVD-RWをお使いの場合のみ）。または新しいディスクを入れる。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではスポーツパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：SPK-HCA
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

お問い合わせ窓口のご案内

■**テクニカルインフォメーションセンター**
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

●ナビダイヤル・・・0570-00-0066
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は・・・0466-38-0253
(ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください)
受付時間：
月〜金曜日　午前9時〜午後8時
土、日曜日、祝日　午前9時〜午後5時

お電話される際に、本機の型名（SPK-HCA）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

スポーツパックを使う

モード選択をする

1 電源を入れる

POWERスイッチを「ON」にする。

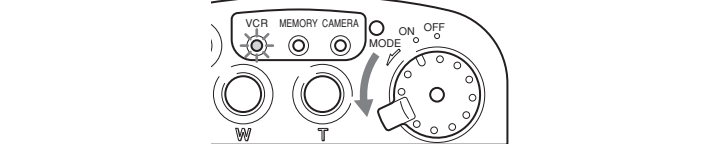
ご注意

撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。この機能は、デジタルビデオカメラレコーダー側で「自動電源オフ」を「なし」にすることができます。詳しくは、お使いのデジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
撮影スタンバイに戻すには、POWERスイッチを再度「ON」にしてください。

2 希望のモードを選択する

POWERスイッチを「MODE」へスライドさせると次の順にモードが切り替わります。

→ CAMERA → MEMORY → VCR →

スポーツパックのモードランプで、選択したモードを確認できます。

DCR-HC90/HC41/HC40/HC30をお使いの場合

動画を撮影するには、CAMERAモード、MEMORYモードを選択します。
静止画を撮影するには、CAMERAモード、MEMORYモードを選択します。
記録されている画像を見るには、VCRモードを選択します。

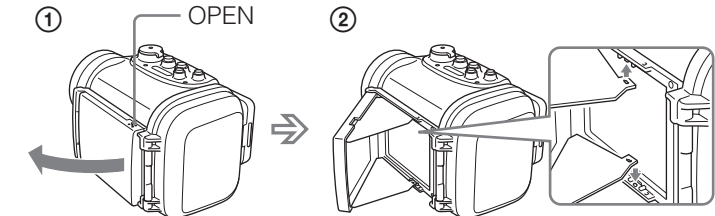
DCR-DVD403/DVD203/DVD201/DVD101をお使いの場合

動画を撮影するには、CAMERAモードを選択します。
静止画を撮影するには、MEMORYモードを選択します。
記録されている画像を見るには、VCRモードを選択します。

ご注意

スポーツパックのPOWERスイッチが優先されます。

開閉式ミラーを開く

開閉式ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。
① 開閉式ミラーを開く。
② 上下の羽を広げ、羽の穴を固定用の凸部にはめ込む。

開閉式ミラーを閉じるときは

上下の羽の固定をはずし、下の羽から閉じます。

撮影する

動画を撮影する

CAMERAモードのときにはテープ、ディスクに、MEMORYモードのときには"メモリースティック デュオ"に記録されます。

START/STOPボタンを押す

撮影が始まります。

撮影を止めるには

START/STOPボタンを押します。
もう一度、START/STOPボタンを押すと撮影が開始されます。

電源を切るには

撮影を止めた状態でPOWERスイッチを「OFF」にします。

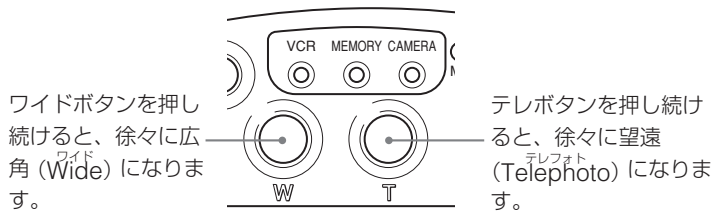
ご注意

DCR-DVD403/DVD203/DVD201/DVD101をお使いの場合には、MEMORYモードでの動画撮影はできません。

ズーミングのしかた

速度が2段階に変化します。
軽く押すとゆっくりズーミングし、さらに押すと早くズーミングします。

ワイドボタンを押し続けると、徐々に広角（Wide）になります。

テレボタンを押し続けると、徐々に望遠（Telephoto）になります。

静止画を撮影する

MEMORYモード

静止画を"メモリースティック デュオ"、ディスクに保存します。

1 Photoボタンを軽く押す。

液晶画面表示の緑の ● が点滅から点灯に変わり撮影可能になります。
＊この状態では、画像は記録されていません。

2 Photoボタンを深く押す。

Photoボタンを深く押したときの画像が記録されます。

CAMERAモード

静止画を"メモリースティック デュオ"に保存します。

1 Photoボタンを軽く押す。

液晶画面表示の右上に「キャプチャー」という文字が出て、画面表示が静止します。
＊この状態では、画像は記録されていません。

2 Photoボタンを深く押す。

画面に表示されている画像が記録されます。

DCR-DVD403/DVD203/DVD201/DVD101をお使いの場合には、CAMERAモードでの静止画撮影はできません。

ご注意

1 スポーツパックを使ってナイトショット撮影等、暗闇で撮る機能を使用することはできません。
2 スポーツパックを使ってデジタルビデオカメラレコーダーのフラッシュ機能、テレマクロ機能を使用することはできません。

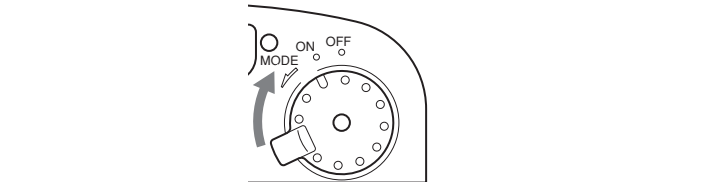
画像を見る

デジタルビデオカメラレコーダーのリモコンを受光部（フロントの中央部）に向けて操作すると、液晶画面で画像をみることができます。
音声は聞こえません。
その他の操作も全てリモコンで行ってください。詳しくはお使いのデジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

デジタルビデオカメラレコーダーのメニュー「リモコン」を「切」にしている場合、リモコンでの操作はできませんので、「入」にしてください。
DCR-HC40/HC30/DVD201/DVD101をお使いの場合には画面が左右反転して見えます。再生時のズームボタンは2段可変速ではありません。

デジタルビデオカメラレコーダーを取りはずす

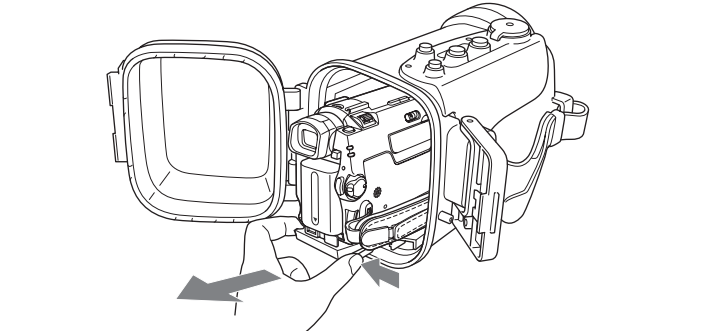
1 POWERスイッチを「OFF」にする。

2 バックルをはずして、後部ボディーを開ける。

別紙の「デジタルビデオカメラレコーダーを取り付ける」の手順2を参照してください。

ご注意

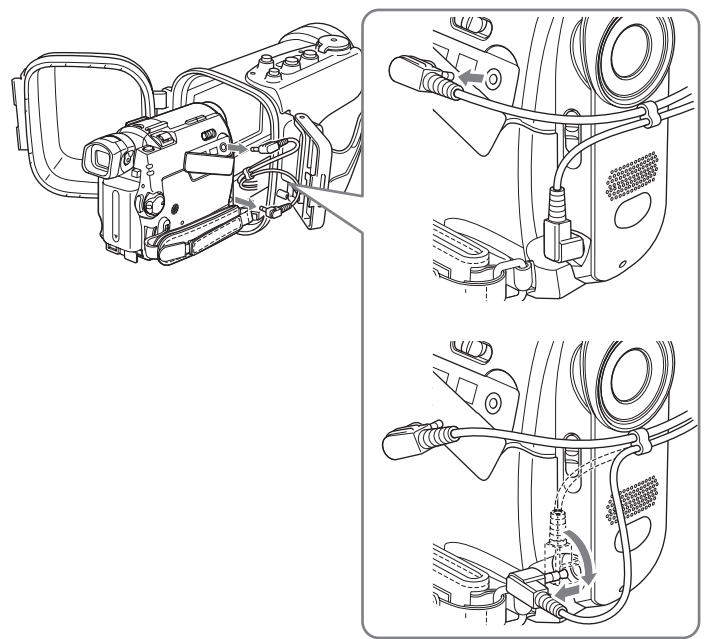
スポーツパックを開けるときは、スポーツパックと体についた水分を充分に拭き取ってから開け、水滴が内部のデジタルビデオカメラレコーダーにかからないようにしてください。

3 台座を引き出す。

台座の片側のノブを押さえるようにしてつかみ、ロックをはずしデジタルビデオカメラレコーダーをゆっくりと引き出します。

4 デジタルビデオカメラレコーダーに取り付けたプラグが前部ボディーの外に出てきたところでいったん止め、それぞれのプラグを確実にはずす。

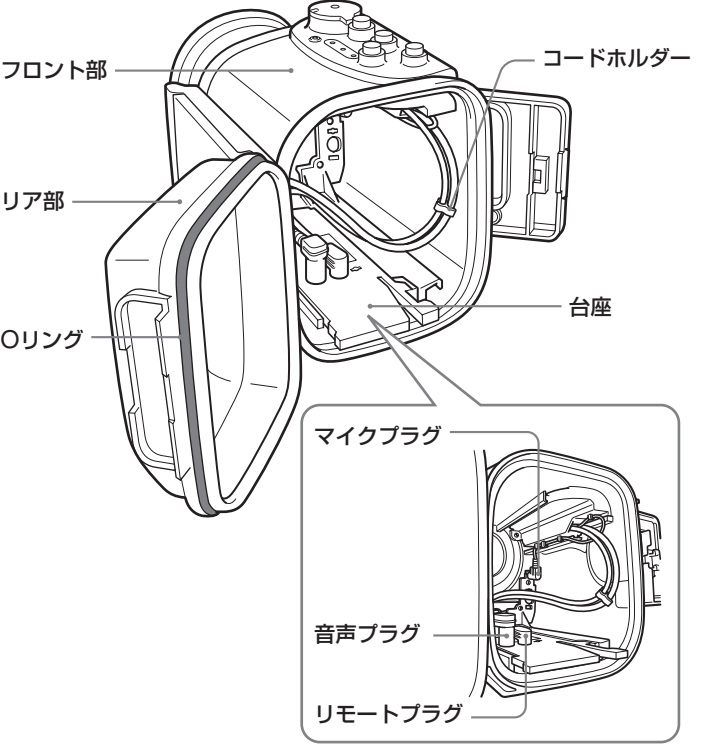
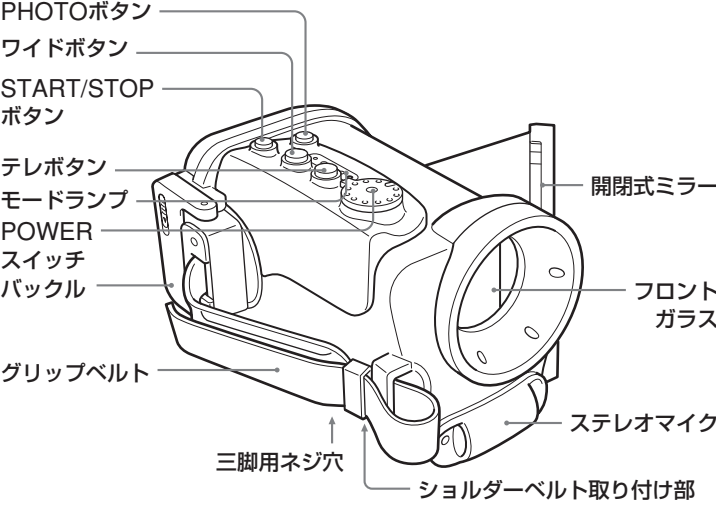
DCR-HC90/HC41/DVD403/DVD203をお使いの場合
① 音声プラグを取りはずす。
② リモートプラグを取りはずす。

DCR-HC40/HC30をお使いの場合
① リモートプラグを取りはずす。
② マイクプラグを図の向きに回転させてから、取りはずす。

DCR-DVD201/DVD101をお使いの場合
① リモートプラグを取りはずす。
② マイクプラグを取りはずす。

ご注意

音声プラグ、リモートプラグ、マイクプラグはプラグ部を持って確実にはずしてください。コード部を持って抜いたり、プラグがはずれていない状態で台座を引き出すとプラグやデジタルビデオカメラレコーダーの端子の破損の原因となります。

5 台座を取りはずす。

各部のなまえ

音声プラグは、スポーツパックのステレオマイクの信号をデジタルビデオカメラレコーダーに入力するためのプラグです。

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス

防水構造
Oリング、バックル

耐圧
水深5 mまで

外部より操作可能な動作
撮影・再生時の電源入／切、録画開始／停止、フォト操作、ズーム操作

最大外形寸法
136×142×201 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量
約800 g（本体のみ）

同梱物
スポーツパック（1）
ショルダーベルト（1）
台座A（1）
台座B（1）
三脚ネジプレート（1）
反射防止リング（Ø25mm）（1）
反射防止リング（Ø30mm）（1）
グリス（1）
スペーサー（1）
くもり止めリキッド（1）
印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。